

市長と語るタウンミーティング実施報告書

担当部	健康福祉部（健康増進課保健センター）
テーマ	コロナ禍で暮らす知恵
日時	令和2年9月17日（木）
場所	国立駅前くにたち・こくぶんじ市民プラザ
出席者	永見市長、西田国立市医師会副会長 大川健康福祉部長、橋本健康づくり担当課長、加藤健康推進担当係長、 菊池主査、村井主任、葛原地域包括ケア推進担当課長
参加者数	17名
主な意見	<p>〈コロナウイルスについて〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どこに多くいるか。床が気になる。椅子の傍に荷物の置場用にもう1脚椅子を配置してほしい。</li> <li>・いつまで続くか。</li> </ul> <p>〈医療について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナとインフルエンザのダブル流行に備え、インフルエンザの予防注射をするようにメディアで聞くが、予防注射はした方がいいのか。</li> <li>・PCR検査の体制は充実しているのか。</li> </ul> <p>〈生活様式について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスが守っていないことも見かける。</li> <li>・外食したら飲酒して大声で話をするグループがいて気になった。このように気を付けない人から感染が広がるのではないか。</li> <li>・市役所職員及び保健センター職員の昼食の取り方はどうしているか。</li> <li>・テレビによって不安を煽られる。気持ちのすさんだ方もいると思う。</li> <li>・引きこもりやDVの方の話聞く機会がある。大切なのは自分たちに何ができるかだと思う。</li> <li>・サークル活動を全部やめている。再開の連絡がきたが返事を決めかねている。サークルが消滅することの不安あり。</li> </ul> <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都と市の役割分担はどのようになっているのか。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師会の医師がパネラーとして参加して頂いたことにより、感染症に対する質問への応答、市内医療機関の情報提供など、充実した内容となった。</li> <li>・現在の感染状況やPCR検査体制のことなど、情報をさらに周知していくことが必要。</li> </ul>

## 当日の様子

